

『らいふ君』徹底解剖！！

「らいふ君」で、らいふの介護はどう変わる？

この度、弊社ではご入居者様の見守り強化、ご家族様の安心創造実現のため各居室に最新のIT技術およびAI機能を備えた「新型センサー」をらいふ千歳船橋、らいふ成城野川緑道、らいふ小田急相模原の3施設に試験的に導入を進めています。本年3月後半から4月いっぱいにかけて効果実証を行い、効果が認められれば5月以降、全施設への展開を目指しています。本システム導入により、タイムリーで能動的な見守りとより深い介護の提供を目指しております。詳細につきましては、3月～4月開催予定の臨時運営懇談会にてご案内させていただきます。（開催案内は、後日改めてご連絡させていただきます。）



「らいふ君」システム概要



介護職員保有の
モバイル端末

赤外線センサー

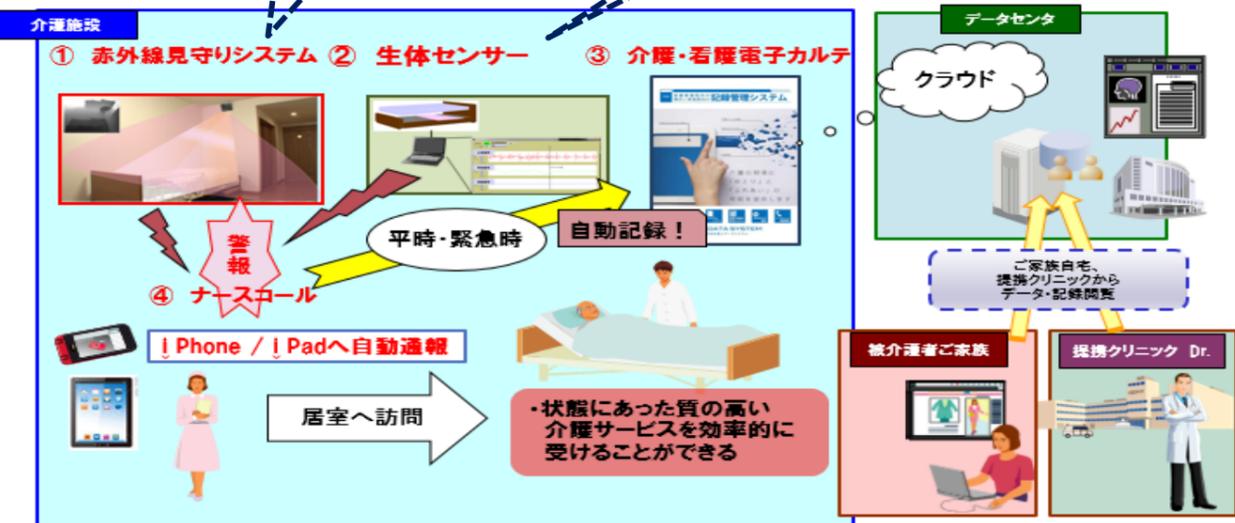


ベッド下生体センサー



異常警報
通知

【システム概要】



詳しく知りたい！—「らいふ君」を構成する3システム—

左ページの図でご紹介したシステムの安全性やプライバシーへの配慮についても最新の技術が施されています。

◆ 赤外線センサー

プライバシーに配慮したシルエット画像を採用し、居室内の状況を常時見守っています。人体への影響、ペースメーカーへの影響は全くありません。このシステムで、うずくまり、横たわり、転倒といった危険予兆動作を感知し、ナースコール経由で介護職員の保有するモバイル端末 (iPad、iPhone) に即時報知を行います。また、トイレ内での長時間滞留といったトイレ異常についても見守りを行っています。通報を受け取った職員はモバイル端末でライブ動画 (居室内の状況) を確認しながら、適切なタイミングでの居室訪問が可能になります。モバイル端末で報知を受けた情報は、報知の時間を挟んで前後30秒間の記録動画をサーバーで保管しているため、後刻、どのような転倒等の異常が発生したのかを医師、ナース、ご家族の間で情報共有ができます。



▲モバイル端末への警報発生時の様子が、警報の前後30秒間の録画画像で再生・確認できます。警報発生時、ご入居者様がどのような状況であったのかを的確に確認できます。



本社職員・現場の選抜職員
各システム会社での会議風景

◆ ベッド下生体センサー

マイクロ波を応用し、ご入居者様の脈拍や呼吸の動きを見守り、データを赤外線センサーに伝達します。赤外線センサー内で異常値があれば、ナースコール経由で介護職員が保有するモバイル端末 (iPad、iPhone) に即時報知を行います。使用しているマイクロ波の出力は大変微弱で人体やペースメーカー等に与える影響はございません。(技術基準適合認定取得済み)



▲電子介護カルテ (例)

◆ 電子介護カルテ

日常の介護情報をモバイル端末から入力できることに加え、赤外線センサーやベッド下生体センサーからの危険予兆動作、異常値情報で通知されたナースコール情報も自動で記録を行います。ご入居者様の日々の生活 (食事摂取状況、バイタル情報やレクリエーション等) のデータも一括管理され、ご家族の皆様や提携医師への情報開示も計画しています。

編集後記

桜の見ごろを迎える4月がスタート！この季節は、新生活サービスでお花見に出かける施設も多いのではないのでしょうか。らいふの本社では、今年度も入社式の準備を進めています。新しい仲間たちと頑張りたいと思います！

弊社施設に関するご意見・ご相談・お問い合わせは 株式会社らいふ フリーダイヤル:0120-055-218 事業推進課 鈴木園子
本紙に関するご意見・お問い合わせは(株)らいふ本社まで